

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 見立

目標達成計画書

作成日：平成 25 年 07 月 18 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	代表が、介護に対する熱い思いを込めて作った理念は、月日がたち、形骸化しているが、理念は、介護の目標であり、ホームの介護のあり方の全てであることを認識し、全員で話し合っていく。	理念について職員全員で話し合い、理念に沿って介護サービスの提供を実施するために、会議や朝礼時に唱和し、理解して、常に理念を意識しながら、利用者一人ひとりに合わせた介護サービスの提供を目指していく。	12ヶ月
2	7	運営に関する利用者、家族等意見の反映	話し合う機会の少ない家族と、コミュニケーションを図るために、ホームに出来るだけ来訪していただけるように努力し、職員と話し合う時間をつくり、信頼関係を構築し、気楽に話し合える関係を確立していく。	利用者と家族が喜ぶ行事を開催し、出来るだけ家族に参加してもらい、話し合う機会をつくっていく。また、ホーム便りを定期的に発行し、利用者のホームでの暮らしぶりや、健康状態等を報告し、家族が安心できる体制を整えていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。